

この度、琴浦町は、町民の1 / 3の加入者を擁し働き盛りの世代が加入する最大の健康保険 協会けんぽ(全国健康保険協会鳥取支部)と「健康づくりに関する包括協定」を締結します。

職域最大の健康保険「協会けんぽ」と町が協定を結び、住民の健康づくりを協働して推進するというのは、鳥取県内19市町村の中で初の試みとなります。


私たちの琴浦町は、がんによる死亡者数や高血圧など生活習慣病による通院投薬治療の多さなどが住民の健康面での課題となっており、それに伴う医療費の増大も大きな課題です。

そのようなことから町では、特に働き盛りの若い世代からの疾病予防や健康づくりが肝要であることから、健康ことうら計画において事業所での健康づくりの取り組みを推進するよう掲げ、その実効を高めるため、町内事業所などの職域からの健康づくりを琴浦町と協会けんぽ鳥取支部が手を取り推進することといたしました。

この連携により、町では、若い世代の疾病予防や健康づくりだけでなく退職後の健康寿命の延伸、国保・後期高齢者医療・協会けんぽ合わせ町民の84%にも及ぶ健診データの分析から見える地域課題解決のための事業の展開、そして将来的に医療費の削減といった効果が期待できると考えます。

その他にも連携による効果が期待できますが、町民の皆様の健康増進を図り、町民及び町内企業が元気で生き生きとした生活ができる町づくりを行っていきたいと考えています。



 鳥取県琴浦町

琴浦町長 山下 一郎